



10月25日(木)18:30 ~ つくばカピオホール

# 憲法9条を守ろう！命と暮らしを守る10.21県南大集会

憲法9条があるにも関わらず、米軍の世界戦略に利用するために、GHQの指示により、1950年に自衛隊の前身である警察予備隊が設立されました。

これまでは憲法9条により、自衛隊員が戦争で殺し殺されることはありませんでした。

これからは違います。自衛隊が米軍とともに海外での活動を可能とする、安全保障法制ができてしまいました。現政権は、この法制を使い、自衛隊のシナイ半島への派遣を検討しています。さらに、秋の臨時国会で憲法9条改正を發議すると表明しています。

自国の外交と安全保障を、国民自身が決められる国になるため、一緒に考えてみませんか。

【講演】戦争の反省から生まれた憲法9条  
—日本と世界の平和を考える—

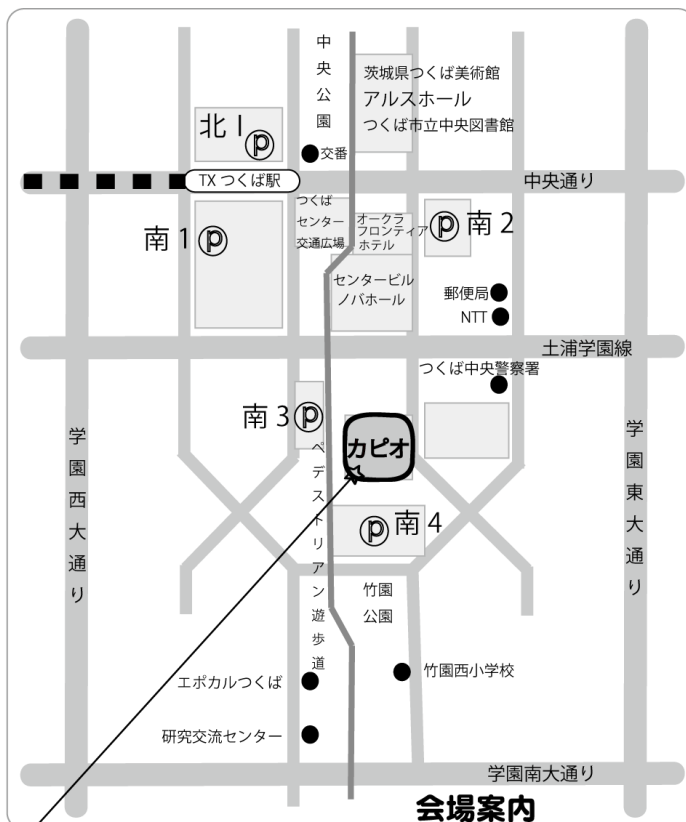
【講師】田村武夫先生（茨城大学名誉教授）

【日時】2018年10月25日(木)18時30分~20時15分

【参加費】無料

## ＜プログラム＞

- 18:00 開場・受付開始
- 18:30~ 開会のごあいさつ
- 18:35~ 講演
- 19:35~ 質疑応答
- 19:50~ 決意表明
- 20:05 閉会のごあいさつ



つくばカピオホール（茨城県つくば市竹園1丁目10-1）



憲法共同センター9月憲法宣伝ビラから転載

## 国際反戦デー

10・21 国際反戦デーは、1966年に大義なきベトナム戦争反対のうねりの中で世界の平和を訴える日として日本で生まれました。

私たちは、戦争反対を訴え、平和と暮らしを守るために「10.21 県南大集会」を毎年開催してきました。

与党が次の臨時国会で提出をねらっている改憲を止めさせ、日本の政治に立憲主義と民主主義を取り戻しましょう。

**主催：「いのちと暮らしを守る10・21県南大集会」実行委員会**

事務局・お問い合わせ先：学研労協/Tel.029-861-7320